

よく使われる浮動小数点数

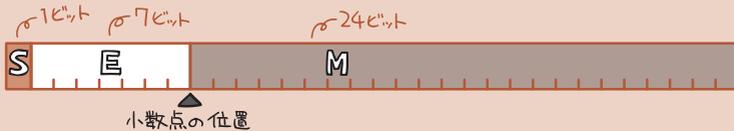
実際に使われている浮動小数点数の例としては、次のような形式があります。



32ビットの形式例

ひとつ目は、ごくごくシンプルな浮動小数点数形式。

全体は32ビットで構成されています。指数部が負の数の場合は、2の補数を使ってあらわし、仮数部には、0.Mと正規化したMの部分が入ります。

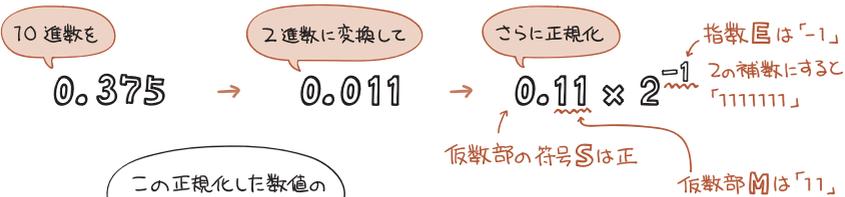


S : 仮数部の符号 (0:正、1:負)

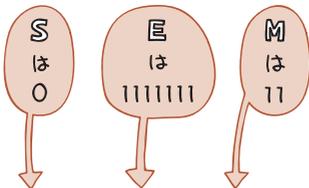
E : 指数部 (2を基数とし、負の数は2の補数で表現)

M : 仮数部 (2進数、絶対値表示)

たとえば10進数の「0.375」という数字をこの形式であらわすと、次のようになります。



この正規化した数値の各要素を...



先ほどの形式にはめ込んで
できあがり

